



2022年9月12日

各位

会社名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田島 秀二
(コード番号：7707 東証グロース)
問合せ先 取締役総務部長 田中 英樹
(TEL 047-303-4800 <https://www.pss.co.jp/>)

microRNA 抽出用ICカードと専用試薬

およびホルマリン固定パラフィン包埋 (FFPE) 標本前処理試薬を9月26日より販売開始

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社 (以下 PSS、本社：千葉県松戸市) は、がん分子診断市場への参入を目指し、microRNA^{*1}を含むトータル核酸の自動抽出を実現するプロトコール IC カード「MagDEA Dx SV miRNA」と専用試薬「Prep Buffer C」およびホルマリン固定パラフィン包埋 (以降、FFPE) 標本^{*2}の前処理試薬「Prep Buffer B」、「Proteinase K」を2022年9月26日より国内での販売を開始致します。^{*3}

「MagDEA Dx SV miRNA」と「Prep Buffer C」は、弊社全自動核酸抽出装置「magLEAD シリーズ」および核酸抽出試薬「MagDEA Dx SV」と組み合わせて使うことで、血清、血漿等のサンプルより microRNA を含むトータル核酸を約 30 分で抽出することができます。

「Prep Buffer B」と「Proteinase K」は、FFPE 標本の前処理試薬であり、これらの製品で処理したサンプルを「magLEAD シリーズ」および「MagDEA Dx SV」もしくは「MagDEA Dx SV RNA」と組み合わせて使用することで、高品質高収量の核酸を抽出することができます。

また試薬は2022年7月より本格稼働しております PSS 大館試薬センターにて製造致します。

PSS は引き続き、さらなるアプリケーション拡充を目指し、核酸(遺伝子)抽出技術の開発に取り組んでまいります。



Prep Buffer B、 Prep Buffer C、 Proteinase K の製品形態

- ※ 1 : mircoRNA は 21~25 塩基程度の短い RNA で、がんをはじめとするさまざまな疾患のバイオマーカーとして用いる研究が進んでいます。
- ※ 2 : ホルマリン固定パラフィン包埋 (formalin-fixed paraffin-embedded : FFPE) 標本とは、ホルマリンで固定した標本をパラフィンへと置換し包埋処理をしたもので、病理診断を目的とした検査室で広く用いられています。この FFPE 標本は、従来形態学を基にした病理診断等で用いられておりましたが、近年ではその利用目的がさらに広がり、遺伝子変異解析にも使用されています。
- ※ 3 : 「Prep Buffer B」、「Proteinase K」、「MagDEA Dx SV miRNA」、「Prep Buffer C」は全て研究で用いられる製品になります。

以 上